

## 副 専 攻 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部（学科）名〔教育学部(第四類)〕

プログラムの名称	(和文) 健康スポーツ教育副専攻プログラム
	(英文) Health and Sports Sciences Education
<p>1. プログラムの紹介と概要</p> <p>健康スポーツに関する内容及び身体の動きについてスポーツ科学の立場から検証を行う実践的なプログラムである。スポーツ実技科目、スポーツ内容学科目に関する授業を有機的に組み合わせることにより、健康スポーツ教育について広い視野を持つ知見と実践力の修得をめざす。</p>	
<p>2. プログラムの到達目標</p> <p>副専攻プログラムの開始時期は、原則として2年次である。既修得要件は特に設定しない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. スポーツ実技とその内容をスポーツ科学の理論をもとに理解する。</li> <li>2. スポーツ実技とその内容の理解をもとに実践法やリサーチワークの方法を身につけ、総合的、批判的に検討できる能力の獲得を目指す。</li> </ol>	
<p>3. プログラムの履修時期・要件</p> <p>(1) 履修開始時期とプログラム登録時期</p> <p>「プログラム登録時期」は、副専攻プログラムを履修するにあたり、履修開始後の登録（事後登録）は可能である。</p> <p>(2) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等)</p> <p>本プログラムの「専門基礎科目」と「専門科目」の履修を必修とする。</p> <p>実験および演習の科目において人数制限を行うことがある。</p> <p>(3) 履修上の注意点</p> <p>専門基礎科科目および専門科目から 20 単位以上を取得する。</p> <p>ただし、専門基礎科目の中からスポーツ実技科目（4単位）以上を取得し、さらに専門科目の中から講義と実験（または演習）のセット科目（1セット3単位）で2セット科目以上（6単位以上）を取得する。</p>	
<p>4. 教育内容・構造</p> <p>(1) 修了に必要な単位数</p> <p>専門基礎科科目および専門科目から 20 単位以上を取得する。</p> <p>ただし、専門基礎科目の中からスポーツ実技科目（4単位）以上を取得し、さらに専門科目の中から講義と実験（または演習）のセット科目（1セット3単位）で2セット科目以上（6単位以上）を取得する。</p> <p>(2) 副専攻プログラムの構造</p> <p>初年度・次年度のいずれでも履修できる。</p>	
<p>5. 授業科目及び授業内容</p> <p>「専門基礎科目」</p> <p>スポーツ内容学科目：</p> <p>健康・スポーツ総論、救急看護法、公衆衛生学、バイオメカニクス、生涯活動教育論、体育科教育概論、体育科教育課程・教材構成論、体育・スポーツ行政学</p>	

スポーツ実技科目：

陸上競技Ⅰ、器械運動Ⅰ、舞踊Ⅰ、水泳Ⅰ、武道ＡⅠ（柔道）、武道ＢⅠ（剣道）、球技ＡⅠ（バレーボール）球技ＢⅠ（サッカー）、球技ＣⅠ（バスケットボール）、球技ＤⅠ（テニス）、アクアスポーツ、野外活動ＡⅠ（登山・キャンプ）、野外活動ＢⅠ（スキー）、トレーニング実習Ⅰ

「専門科目」

スポーツ内容学科目：《 》はセット科目を表示

《スポーツ生理学、スポーツ生理学実験》、《スポーツ医学、スポーツ医学実験》、  
《スポーツ社会学、スポーツ社会学演習》、《スポーツ経営学、スポーツ経営学演習》、  
《舞踊教育論、舞踊教育論演習》、《運動技術論、運動技術論実験》、  
《コーチング論、コーチング論実験》、《スポーツトレーニング学、スポーツトレーニング学実験》、  
学校保健、スポーツ心理学、体育科教育概論演習、体育科教育課程・教材構成論演習、  
体育科教育実践演習、保健体育科教育方法・評価論

スポーツ実技科目：

陸上競技Ⅱ、器械運動Ⅱ、舞踊Ⅱ、水泳Ⅱ、球技ＡⅡ（バレーボール）、球技ＢⅡ（サッカー）、球技ＣⅡ（バスケットボール）、球技ＤⅡ（テニス）、野外活動ＡⅡ（登山・キャンプ）、武道ＡⅡ（柔道）、武道ＢⅡ（剣道）、トレーニング実習Ⅱ

※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

## 6. 評価

### (1) 試験・成績評価

授業科目の成績評価は、秀，優，良，可及び不可の5段階評価とする。

### (2) 修了判定の基準

履修表に掲げる科目のうち、必要な単位数を取得すること。

## 7. プログラムの責任体制

本プログラムは、主として教育学部の健康スポーツ科学講座のスタッフによって遂行される。その責任はプログラム責任者（講座主任）にある。

## 8. プログラムの受入上限数

10名から15名

## 9. プログラムの既修得単位等の認定単位数等

### (1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等

(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等

(1)、(2)併せて8単位までとする

### 【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

別表

健康スポーツ教育副専攻プログラム 履修表

科目区分	授業科目	開設単位数	学期別週授業時数 (履修期)						要修得単位数	開設学部	備考	
			3 セメ	4 セメ	5 セメ	6 セメ	7 セメ	8 セメ				
専門基礎科目	健康・スポーツ総論	2		2					20	教育学部	主専攻プログラムでは2セメ	
	救急看護法	2	2									
	公衆衛生学	2	2									
	バイオメカニクス	2	2									
	生涯活動教育論	2		2								類共通科目
	体育科教育概論	2	2									
	体育科教育課程・教材構成論	2		2								
	体育・スポーツ行政学	2		2								
	陸上競技 I	1	2									主専攻プログラムでは1セメ
	器械運動 I	1		2								主専攻プログラムでは2セメ
	舞踊 I	1	2									
	水泳 I	1	2									
	武道A I (柔道)	1	2									
	武道B I (剣道)	1	2									主専攻プログラムでは1セメ
	球技A I (バレーボール)	1	2									主専攻プログラムでは1セメ
	球技B I (サッカー)	1	2									主専攻プログラムでは1セメ
	球技C I (バスケットボール)	1		2								主専攻プログラムでは2セメ
	球技D I (テニス)	1	2									
	アクアスポーツ	1	2									
	野外活動A I (登山・キャンプ)	1	2									主専攻プログラムでは1セメ
野外活動B I (スキー)	1		2									
トレーニング実習 I	1		2						主専攻プログラムでは2セメ			
専門科目	スポーツ生理学	2			2							
	スポーツ生理学実験	1				2						
	学校保健	2		2								
	スポーツ医学(スポーツ栄養学を含む)	2			2							
	スポーツ医学実験	1				2						
	スポーツ社会学	2		2								
	スポーツ社会学演習	1				2						
	スポーツ経営学	2			2							
	スポーツ経営学演習	1				2						
	スポーツ心理学	2				2						
	体育科教育概論演習	1				2						
	体育科教育課程・教材構成論演習	1				2						
	体育科教育実践演習	1					2					
	保健体育科教育方法・評価論	2			2							
	舞踊教育論	2		2								
	舞踊教育論演習	1				2						
	運動技術論	2			2							
	運動技術論実験	1				2						
	コーチング論	2			2							
	コーチング論実験	1				2						
	スポーツトレーニング学	2	2									
	スポーツトレーニング学実験	1				2						
	陸上競技 II	1		2								
	器械運動 II	1		2								
舞踊 II	1		2									
水泳 II	1			2								
球技A II (バレーボール)	1			2								

球技BⅡ（サッカー）	1	2							
球技CⅡ（バスケットボール）	1		2						
球技DⅡ（テニス）	1			2					
野外活動AⅡ（登山・キャンプ）	1	2							
武道AⅡ（柔道）	1			2					
武道BⅡ（剣道）	1			2					
トレーニング実習Ⅱ	1		2						
合計									20

主専攻プログラムでは3セメ

〈履修上の注意〉

1. 専門基礎科目および専門科目から20単位以上を取得し、1および2の条件を両方満たすこと。
2. 専門基礎科目の中からスポーツ実技科目4単位以上を取得する。
3. 専門科目の中から講義と実技または演習のセット科目（3単位）を2科目以上（6単位以上）を取得する。